

学校だより 三和中 JUMP



一年間、ありがとうございました！

主体的な学習と個別最適化をすすめた成果か!? ただいま学力向上中！

1, 2 年県「到達度調査 (R.5 年 2 月)」、
3 年「全国学力学習状況調査 (R.4.4 月)」より

県との比較	1 年	2 年	3 年	
			県との比較	全国との比較
国語	0.8%	3.3%	1.0%	-4.0%
数学	12.8%	10.9%	8.0%	-1.4%
英語	7.3%	3.6%	0.0%	-5.3%
3 年理科				

1, 2 年県「学びの確かめ (R.4 年 6 月)」

県との比較	1 年	2 年
国語	-0.8	1.8
数学	10.7	3.3
英語	12.3	-0.5

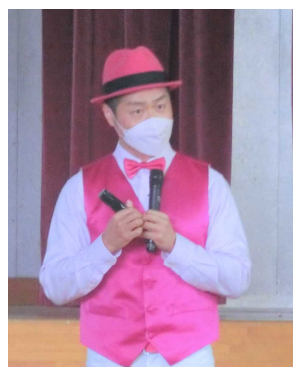


2 月 15 日 (水)、沖縄県到達度調査 (1, 2 年生対象) が実施されました。この調査は、本県の中学校 1, 2 年生が、3 教科 (国・数・英) のテストを実施し、生徒一人ひとりの学力の定着状況を把握するとともに、授業改善に活かすことが目的です。左の表は到達度調査の結果を地区・県と比較したものです。どの教科も地区・県平均点を上回っています。特に、数学の点数の高さは驚きです。6 月に行われた「学びの確かめ」の結果と比較しても 1, 2 年生共に頑張っていますが、特に、2 年生の伸びが目立ちます。学習への取組の向上、先生方の個別最適化した指導の成果、と言えるのではないのでしょうか。大変うれしい結果です。

笑顔いっぱい、涙いっぱい、感動的な卒業式でした

3 月 11 (土)、春の訪れを感じさせる陽だまりの中、第 75 回卒業式が行われました。4 年ぶりに全校生徒・保護者ご来賓の皆さんが見守る中、拍手での入場、全校生徒による卒業の歌斉唱、そして花道を通っての退場まで、笑顔、涙いっぱいの感動的な卒業式でした。1, 2 年生の会場づくりや、生徒会による演出、そして送辞、答辞、保護社代表あいさつ等どれも心のこもった温かいものでした。1, 2 年生の皆さん、また当日ご協力いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。

追伸：卒業生全員、高校入試第一志望に合格しました。3 年連続の全員一発合格だそうです。



青少年育成市民会議三和支部講演会 「周りとかがっても大丈夫！～LGBT・性の多様性(いろいろな性)～」

3 月 14 日 (火)、「自分らしさを大切に、他者や多様な考えを尊重する心を育む」ことを目的に、NPO 法人レインボーハート okinawa 理事長竹内清文さんを招いて講演会が開かれました。この日は、三和中学校区内の小学校 6 年生が体験授業で訪れており、午後は事前に講演に備えて LGBTQ について学習していた 1, 2 年生と一緒に講演を

聞きました。クイズや質疑応答など楽しくわかりやすい講演だったようです。



卒業生、Aさん、生け花で同級生を癒す

3 月 3 日 (金) 受験で頑張る同級生のために、と職員室で生けて学年フロアで飾られました。

お兄さんも生け花を習っており、その影響で興味を持ち、5 歳から現在まで生け花を習い 続けているそうです。仲間のため、後輩のため、とこれまでも一肌も二肌も脱いできた A さん、ありがとう。



校内の風景



※修理待ちです
※裏面に続きま



1, 2 年学年レク … 絆は徐々に深まっていく



3月17日(金)は1年、22日(水)は2年が、「自主的に取り組み、次年度に向けて学年の絆を深める」ことを目的に、1年はクラス対抗ドッジボールとボールをつなぐバレーボールを、2年はクラス対抗ドッジボールとバスケットボールを行いました。学年の先生方によると、とても楽しくプレーしていたそうです。

勝負事ですから懸命にプレーし、勝利を目指します。そんな中、ミスもあったり負けてしまったり、遠慮して思い切ってプレーできなかったり。でもいいんです仲間なんだから。お互いの頑張りを讃え合えばいいんです。相手の良さがわかればいいんです。楽しい時間を共有できたことが大切なんです。絆は徐々に深まっていくものです。

1 年の様子(左上下)、2 年の様子(右上下)

離任される職員紹介

上原正寛(教頭)…校長昇任で西崎小へ

仲吉 謙(理科)…退職

大城亜由美(国語)…伊良波中へ

玉城幸平(数学)…長嶺中へ

與那原愛乃(美術)…退職

仲程佳代子(県費事務)…大里中へ

離任される先生方より

上原正寛教頭先生

2年間お世話になりました。皆さんと幸せな2年間を過ごすことができました。特に今年度はコロナ禍で中断していた学校行事や対外行事が徐々に開催されるようになり、三和中学校生徒の皆さんが活躍する姿が見られて、大変嬉しかったです。誇らしかったです。今後三和中学校の活躍を期待しています。

仲吉謙先生

昨年定年退職の後、再雇用で今年度まで三和中にお世話になりました。三和中学校2回目、トータル十年間です。この度、学校現場を離れるにあたりお世話になりました。生徒、保護者、同僚の皆さんに厚くお礼を申し上げます。

皆さまのご健勝、

ご多幸を心よりお祈りします。またどこかでお会いした時は、気軽に“元氣”と声かけます。その時は近況お聞かせください。三和中の教育のためご尽力いただきありがとうございました。

最後に、三和中学校の益々の発展と生徒たちの更なる活躍をお祈り致します。

大城亜由美先生

生徒会顧問として皆さんと活動してきました。皆さんの成長は素晴らしいものがあります。これからも皆さんの良さを大事に頑張ってください。ありがとうございます。

玉城幸平先生

2回目の三和中学校でトータル5年間お世話になりました。素直で明るく前向きで、何事に対しても真剣に取り組む、私自身も元気をもらえ、授業でも様々な視点で物事を考えることができ、新しい発見の毎日でした。在校生の皆さん、これからも三和中学校の良き伝統を引き継ぎ、皆さんの手で新しい三和中を築

き上げてください。皆さんのさらなる成長を願っています。5年間ありがとうございました。

與那原愛乃先生

4月の新任あいさつで美しい列で、体育館で待っていた三和中の皆さん、その姿に感動したのを昨日のようにおぼえています。一年間という長いようであつという間の時間を、皆さんと美術ができてとても楽しかったです。こだわりの工夫を凝らして作品をあらめず仕上げていた姿はとてもステキです！この調子で4月からも楽しく豊かなアイデアで、ヤバたにえんな表現をして下さいね！1年間ありがとうございました！

仲程佳代子さん

三和中学校で勤務した4年間は、私にとって「学校事務職員として何ができたか」という挑戦の日々でした。コロナ禍での学習環境をどう守っていくのか。保護者負担金の軽減のために何ができたのか。先生方が働きやすい環境をどう作るのか。学校のお金をどのように活用するのか。三和中学校の一員として働けたことに感謝しています。ありがとうございました。

1年間、ご協力、ご支援ありがとうございました

この1年は、「コロナの影響で…」の前置きを言わないでおう、と決めてスタートしました。感染による生徒や職員の健康保持への危惧はありましたが、3年もの間、常套句のように使われた言葉で、「またか」と、生徒、職員の教育活動、保護者や地域の参画等モチベーションをどれだけ削いでいるだろうか、そこが気になっていました。

「思い切りやろう」「新しいことをやろう」「積極的にやろう」「〇〇やろう」ばかりで、身勝手なことばかり言っている、と思われたかもしれません。職員には迷惑をかけたなあ、と感じています。それでも一年間大きな問題なく終えようとしていることに、生徒、職員、保護者、地域の方々へ本当に感謝しています。

手前みそかもしれませんが、三和中は良い学校です。生徒が職員が、保護者・地域が温かい。それでも課題はあります。次年度はその課題解決に向けて頑張ります。また、ご協力・ご支援をいただければ幸いです。

校長 宮里直哉

新型コロナの影響が少しずつ弱まってきました。